

## 青梅市社会教育委員会議 7 月定例会会議録

令和 2 年 7 月 2 1 日  
2 0 6 会 議 室  
出席者 委員 1 0 名  
(欠席者 委員 0 名)  
事務局 3 名

### 1 開 会

【議 長】新型コロナウイルス感染症の感染者が増えており、深刻な状況であると思う。東京・関東近辺・関西近辺が多いので、先行きが不安である。東京都市町村社会教育委員連絡協議会の理事会等と東京大会実行委員会を開催したが、新型コロナウイルスの状況を考えて、開催するかどうかの検討をしていく必要がある。

【課 長】都内の感染者が 1 3 日連続で 1 0 0 名を超えている。都は警戒度を最も深刻な状況に引き上げられている。青梅市も 1 3 人感染者という状況になり、徐々に増えている。産業観光祭りも中止になった。社会教育事業についても、三密を避けて慎重に行い、場合によっては中止・縮小等も行っていく。

### 2 報告事項

- (1) 令和 2 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 1 回役員会・拡大役員会の結果について (報告資料 1)

【事務局】事務局から概要説明。新型コロナウイルス感染症の影響で、書面審議という形で行った。

～質疑なし～

- (2) 令和 2 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 2 回役員会・拡大役員会、第 1 回理事会の開催について (報告資料 2)

ア 日 時 令和 2 年 7 月 1 4 日 (火) 午後 1 時 3 0 分から

イ 場 所 青梅市役所 2 階

ウ 参加者 宮野議長、栗原委員、事務局 (和田、土屋、田畑)

【事務局】事務局から概要説明。ブロック研修会については、青梅市は奥多摩町の第一ブロックで 1 0 月 2 4 日に実施予定。テーマが未定ではあるが、統一テーマにもとづいて、伝統芸能の継続性などについての研修を進める想定とのことであった。1 2 月に青梅市にて開催する交流大会についても承認された。

～質疑なし～

- (3) 令和 3 (2021) 年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会第 1 回実行委員会の開催について (報告資料 3)

ア 日 時 令和 2 年 7 月 1 4 日 (火) 午後 4 時から

イ 場 所 青梅市役所 2 階

ウ 参加者 宮野議長、栗原委員、事務局（教育長、和田、土屋、田畑）

【事務局】事務局から概要説明。ブロック幹事市が 1 つずつ 1 分科会を担当する。青梅市が来年度の第一ブロックの幹事市なので、青梅市も担当する。事例発表 2 つ、ワークショップ形式 3 つを各ブロック幹事市で分担する。ここで急遽、新潟大会の冊子に掲載する必要となり、データを 9 月 1 日までに提出しなければならなくなったため、8 月末までに分科会のテーマを決める必要がある。シャトルバスや研修ツアーは実施しないこととなった。チラシデザインは青梅市在住のデザイナーにお願いする。

～質疑なし～

(4) (一社) 全国社会教育委員連合機関誌『社教 情報』第 8 3 号の購入について (報告資料 4)

【事務局】事務局から概要説明。本日希望を伺いたい。変更・追加等があれば、今月中までに購入するかしないかを連絡してほしい。

～委員 6 名購入希望～

【委 員】『社教情報』は、年々売り上げが落ちている。都道府県では全員買ってほしいという通達を出している。情報がたくさん掲載されているので、これを読んで、情報を共有してほしいという考えも (一社) 全国社会教育委員連合としてはある。

(5) 生涯学習事業実施予定・結果 (報告資料 5)

【事務局】事務局から概要説明。

～質疑なし～

(6) その他

～特になし～

### 3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会 6 月定例会会議録 (案) について

(協議資料 1)

【事務局】事務局から概要説明。

～了承～

(2) 青梅市美術館運営委員会委員の推薦について

(協議資料 2)

任期満了 (令和 2 年 10 月 6 日) に伴う推薦。

ア 任 期 令和 2 年 10 月 7 日～令和 4 年 10 月 6 日までの 2 年間

イ 推薦者

【事務局】事務局から概要説明。現任は横手委員である。よろしければ、継続でお願いしたい。

～異議なし～

～横手委員に決定～

(3) 令和3年青梅市成人式における新型コロナウイルス感染症対応について  
(協議資料3)

【事務局】事務局から概要説明。保護者や美容室から、成人式が終わってすぐから来年の問合せが来るため、日程予定はすでに案内をしている。出席率は大体75パーセント程度で高い。国は現在、5000人規模を可としている。開始時間は変えず、1部制で行うパターンでも、座席を千鳥にして間隔をあけて着席しても、主催者・来賓を大幅に減らし、観覧席も新成人席にすると、なんとか全員入ると思われる。タイムカプセルの場所は第1スポーツホールではない場所にする必要がある。規制退場を検討している。もう1案として、午前と午後に分けて行う2部制を考えている。2部制にした場合は、司会者や誓いの言葉をそれぞれ倍にする必要がある。また、予算も増やす必要がある。意見を伺いたい。

【事務局】26市の社会教育課長会にて他市の状況を聞いている。成人年齢引き下げ問題に関しては、二十歳での開催は20市、その他は未定。今年度については、もともと対象人数が多い八王子市は2部制を2日かけて行うことを検討中。日野市はオンラインを検討中。現在のところ、どの市も検討中であり、決定している市はない。ただ、中止を決めている市は今のところなく、開催に向けて検討しているところである。

【委員】今年度、自分の子どもが新成人である。ぜひ開催してほしい。横浜市のようなオンラインの場合、着付けはどうするのか懸念している。2部制については、以前、青梅市民会館で一度行っている。2部制で行ってはどうか。タイムカプセル返還は、密どころではない。人がたまる。全て郵送にしてはどうか。

【委員】千人以上の集会は難しい状況だと思う。ただ、成人式は中止というわけにはいかない。都立高校の80周年記念の式典も中止が決まった。状況を全体的に考えると、強硬的にやるより2部制で三密を避けて実施するのが望ましい。タイムカプセルについては、全て郵送ではお金がかかるので、全てを郵送ではなく、学校等で区切って期間指定で取りに来てもらうのはどうか。将来の青梅市を背負って立ってもらえる人たちの集まりであるから、きちんと我々がバックアップしていくのがいい。

【委員】従来通りはとても無理だと思う。せめて2部制がいい。毎年出席率がいいのは、タイムカプセル返還の影響もあるのではないか。ほかの会議室の予約状況はどうなっているのか。

【事務局】トレーニングルーム以外は全て抑えている。

【委員】ブースに分けてうまく分散させ、社会教育委員もタイムカプセル返還作業を行うことなども検討し、その日に配ることも検討してはどうか。やむを得ない場合は郵送だとは思う。

【委員】新型コロナウイルスを怖がって出席しない人も結構いるのではない

か。700前後で収まる可能性もある。一部制でできるのではないか。

【委員】出欠を事前にとるのでなければ、出席見込人数を大幅に下げるべきではない。行政として、規模が見えない中での開催は責任が持てない。

【議長】出欠を取るの難しい。これまで出欠を取ったことがあるのか。

【事務局】ないと思う。

【議長】タイムカプセルの返却が課題であるが、タイムスケジュールを1時間以内に抑えるべきではないか。

【事務局】それは抑えるつもりである。新成人インタビューは行わない。ただ、先生からのビデオレターは上映したいと考えている。

【議長】ビデオレターは、学校ごとにDVDに撮って希望者にあげるのはどうか。

【事務局】そこまでは予算がない。

【議長】学校ごとに写真を入れたりして、成人式の記念品としてあげてはどうか。

【委員】日程をアナウンスして、ズーム等を用いて日程限定で行ってはどうか。

【議長】2部制にしても、来賓はかなり絞っていいのではないか。

【事務局】地区ごとに分ける予定なので、来賓も絞る予定である。

【議長】2部制だが、時間を早めて午前中だけで行ってはどうか。

【事務局】着付けの問題もあるので、あまり早められない。人の出入りを重ならないようにしたい。空気の入替え、シートの消毒もある。

【議長】時間短縮、なるべく少人数、なるべくコンパクトにする。

【委員】こういうご時世であるし、コンパクトは賛成。

【議長】具体的には事務局で考え、整理してはどうか。

～了承～

(4) 成人年齢引下げに伴う青梅市成人式のあり方について (協議資料4)

【事務局】事務局から概要説明。3月の定例会で見ていただいた案である。教育委員会へ助言をし、総合教育会議にあげ、議会の常任委員会へ報告予定。(5)については20市が引き下げないという方向になっている。

【議長】これで助言として送りたいが、いかがか。

～了承～

(5) 令和3(2021)年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会分科会について (協議資料5)

【事務局】事務局から概要説明。事例発表は、ローテーションが定められており、どういう内容で事例発表をしてほしいかお願いし、分科会担当としてはコーディネートしていく形式になる。ワークショップは自由に、という形式になる。事務局案はワークショップである。

【議長】第一ブロックとしてどういうことをやりたいか。インターネット環

境での環境づくりも重要になっている状況である。事務局案について皆さんの意見を伺いたい。

～意見なし～

【議長】事務局案で進めていきたい。

【事務局】ほかのブロックと重なった場合に備え、3案まで出してほしい、ということになっている。

【議長】第1ブロックとしては、『地域』がキーワードではないか。ローカルである。地域文化に対してのワークショップはどうか。

【議長】高齢化と人口減少の中で、地域とのかかわり・社会教育の課題をどう考えていくか。関東甲信越静の中で、人口減少都市がほとんどではないか。それに対応していくのは大きな課題ではないか。九州の災害を見ていて、人がいない・地域内ではボランティアがいない、というのが気になった。地域が孤立してしまう気がした。青梅も人口は予想以上に減っている。転入があまりなく、高齢者が亡くなっているという状況ではないか。

【委員】高齢社会に関してはどこも課題。高齢者もインターネットなどつながっていきけるようにしていく必要がある。健康寿命をどう維持するかという健康の問題、終活等の自己実現の問題。そこに何か仕掛ける場合の地域性を考える必要がある。限界集落の社会教育を紹介するとか。

【議長】第2希望以降は、これらのことを事務局でまとめて、3案作成することとしてよろしいか。

～了承～

【議長】東京大会では、各委員に運営に協力してもらいたい。スタッフジャンパーなどは作らず、リボンなどをつけて、目立つ一体感があるものを何かつけられたらいいと考えている。みんなに協力してもらわないとできない。前回の東京大会では、都市社連協が全然対応せず、東京都任せになってしまった。今回の東京大会では、都市社連協全体で協力体制を作って実施していきたい。

#### (6) 8月定例会について

【事務局】例年は開催していないが、交流大会・分科会の話等を行う必要もあり、新型コロナウイルスの状況がどうなっているかによって、交流大会等の開催を検討したい。

【議長】8月の第三火曜日19時からとしたい。

～了承～

#### (7) その他

～特になし～

### 5 その他

【委員】青梅市体育協会が、青梅市スポーツ協会に変わった。7月16日に行われたスポーツ振興審議会では、令和元年度青梅市スポーツ振興基金条例の

援助等の結果、第54回青梅マラソン大会の結果、令和2年度スポーツ推進事業について報告があった。青梅市スポーツ振興基金条例に基づく援助および表彰について、諮問があった。青梅市スポーツ施設ストック適正化計画の策定、スポーツ施設の使用料について、協議があった。

【議長】どこの市町村も体育協会だったと思うが、国の指導等があって他市も変わっているのか。

【委員】東京都の方が『体育』にこだわっているが、各都道府県を統括する『日本体育協会』はかなり前から『日本スポーツ協会』になっており、また、全国的にも『スポーツ』に変わりつつある。

【事務局】配布物は、『生涯学習だより7月号』、『令和元年度おうめ放課後子ども教室「夕やけランド」実施報告書』、『夏休みのせいかつ（小学生）』、『夏休みの生活（中学生）』、『令和元年度社会教育委員活動記録』。生涯学習だよりに記載の講演会については、人数を新型コロナウイルスの状況に合わせて変更予定。また、（一社）全国社会教育委員連合の情報をお配りした。

【議長】（一社）全国社会教育委員連合が地区大会を結構中止にしている。次回、よく検討していきたい。

次回定例会

8月18日（火）午後7時～